

咽頭結膜熱(プール熱)

咽頭結膜熱はアデノウイルスによる小児の急性感染症です。6月頃から発生し7～8月に最も多くなります。

1. 感染経路

ウイルスが口・鼻・のどの粘膜や眼の結膜から入り込み感染します。患者さんからの接触感染・飛沫感染が主なものですが、タオルの共用による接触感染の例もあります。また汚染したプールの水による集団感染もみられ、**プール熱**とも呼ばれています。便にウイルスが排出されますので、便を介しての経口感染もあります。

アデノウイルスは咽頭結膜熱意外にも、咽頭炎・扁桃炎・肺炎・流行性角結膜炎・胃腸炎・出血性膀胱炎などの多彩な病態を起こす事が知られています。

2. 症状

潜伏期は5～7日間です。

①発熱:39度前後の発熱が3～7日間続きます。頭痛・寒気・食欲不振・全身倦怠感・吐気・下痢等のカゼ症状もみられます。

②咽頭炎:のどの痛み(咽頭痛)が3～5日間程度持続します。

③結膜炎:眼が赤くなり(結膜充血)、眼の痛みや痒みがあり、まぶしく感じ(羞明)、涙が止まらず(流涙)、目やに(眼脂)がでます。一般的には片方の目から始まり、もう一方へと広がります。眼に後遺症を残す事は殆どありません。

3. 治療

特異的な治療法はなく対症療法が中心となります。眼の症状が強い時は眼科での治療が必要になります。十分な水分と栄養を取る事が大切です。のどの痛みがある間は固いものや熱いものは飲み込みにくいので、プリン・ヨーグルト・ゼリー・アイス・牛乳・豆腐・冷ましたお粥やスープ等がいいでしょう。

4. 予防

①感染者との密接な接触は避ける。

②流水と石鹸による手洗い・うがいを励行する。

③タオルの共用は避ける。(目やにからの感染を防ぐ)

④水泳前後のシャワー・洗眼・うがいを励行する。

⑤おむつ交換の際は手袋を使用し、その後に手洗いを行う。

※:プールを介しての流行時には、プールの一時閉鎖も考慮する必要があります。

御意見・御質問などは石巻保健所健康対策班までお願いします。 電話:0225-95-1430 FAX:0225-94-7104

もっと詳しく知りたい場合は、保健環境センターHP(<http://www.pref.miyagi.jp/hokans/>)を参照してください。